

□ ITF-7200コミュニケーションツール

取扱説明書

—第 2 版—

目次

1. 概要.....	1
1-1. 概要.....	1
1-2. 主な特徴.....	1
2. 使用方法.....	2
2-1. コミュニケーションツールのインストール.....	2
2-2. ツール起動.....	2
2-3. ITF-7200とPC間の通信設定.....	3
3. 設定方法.....	5
3-1. 本体設定.....	5
4. 設定ファイル選択/保存.....	9
4-1. 設定ファイルの選択.....	9
4-2. 設定ファイルの保存.....	11
5. 設定送信/設定受信.....	12
5-1. 設定送信.....	12
5-2. 設定受信.....	13
5-3. 受信内容.....	14
6. デフォルト設定.....	15
6-1. デフォルト設定.....	15
7. ツールの終了.....	16
7-1. ツールの終了.....	16

1. 概要

1-1. 概要

本仕様書は、ITF-7200に対してパソコン(以下PC)より各種設定を行うためのコミュニケーション・ツールについて記述したものです。

1-2. 主な特徴

本ツールの主な機能としては以下の通りです。

- (1) 本ツールにて各種設定を網羅します。
- (2) 本ツールにて各種設定ファイルの読出し／書込みが可能です。
- (3) 本ツールにてITF-7200への設定データ送信／ITF-7200からの設定データ受信が可能です。

2. 使用方法

2-1. コミュニケーションツールのインストール

コミュニケーションツールのインストール方法は、「ITF-7200コミュニケーションツールインストールガイド」をご覧ください。

2-2. ツール起動

- (1) デスクトップ上のITF-7200コミュニケーションツールのショートカットをダブルクリックして本ツールを起動します。



- (2) 下記のような起動画面が表示されます。設定項目は全て未設定で起動します。

ITF-7200コミュニケーション・ツール起動画面

ITF-7200コミュニケーションツール Version 4.0.0.0の起動画面のスクリーンショット。メニューバーには「ファイル(F)」、「設定(C)」、「ヘルプ(H)」があります。タブには「本体設定」と「予備」があります。設定項目は以下の通りです。01. HDMIの表示サイズ指定: No Data (ドロップダウン) 02. 出力モードHDMI DVの切り替え: No Data (黄色ボタン) 03. HDCPモードの切り替え: No Data (黄色ボタン) 04. SDI LOOP OUT: No Data (ドロップダウン) 05. HDCPマスク色: No Data (黄色ボタン) 06. HDMI切断検知時間: No Data (ドロップダウン) 07. スケアラ機能 無/有: No Data (黄色ボタン) ※01で入力解像度を500~17に指定時のみ、スケアラ無(入力)に追従に対応します。本項目設定後は、本体の電源を再投入してください。 08. スケアラアスペクト 維持/無視: No Data (黄色ボタン) 09. HDCP再設定: No Data (黄色ボタン) 10. EDID取得待機時間: No Data (ドロップダウン) 11. SDI切断検知: No Data (黄色ボタン) 12. SDI切断待機時間: No Data (ドロップダウン) ※11でSDI切断検知が「入力連動」選択時のみ有効です。 13. HDMI&SDI切断検知条件: No Data (黄色ボタン) 下部には「設定受信」、「設定送信」ボタン、設定ファイル名入力欄、「設定ファイル選択」、「設定ファイル保存」、「デフォルト設定」ボタンがあります。最下部にはソフトウェアバージョン情報、FPGAバージョン情報、SDIフォーマット、SDI水平有効解像度、SDI垂直有効ライン数、SDIフレームレート入力欄があります。

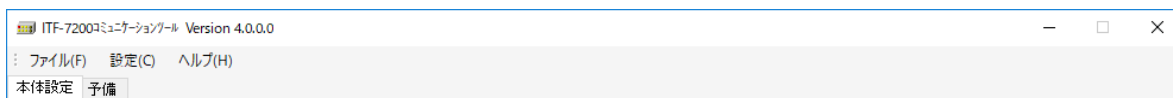
2. 使用方法

2-3. ITF-7200とPC間の通信設定

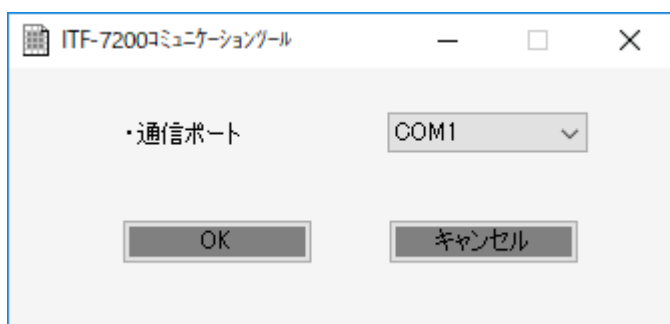
概要：

ITF-7200とコミュニケーションツール（PC）との通信方法を設定します。

(1) コミュニケーションツール上部の設定ボタンをクリックし、通信ポート選択画面を開きます。



通信ポート選択画面



(2) 通信ポート選択

[RS-232C通信]

通信ポート PC側のCOMポートを選択してください。

[COMポート確認例]

コントロールパネル→すべてのコントロール パネル項目→デバイスマネージャー→ポート (COMとLPT)
より確認できます。

2. 使用方法

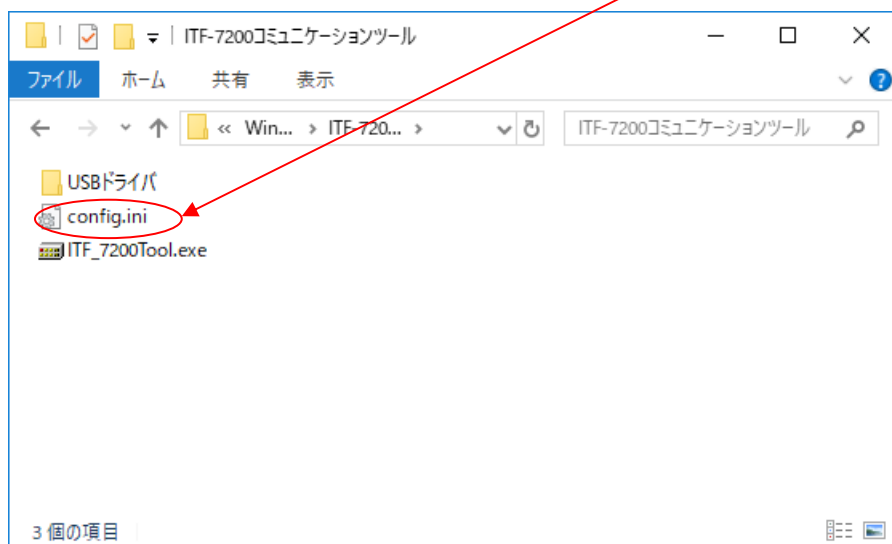
(3) 設定実行

[OK]

OKボタンをクリックすることにより、現在の設定で通信を開始することができます。
以降、コミュニケーションツール起動時に現在の設定を読み込みます。

OK

設定内容は「ITF-7200コミュニケーションツール」フォルダの「config.ini」に上書きされます。フォルダは、インストールの際に「C:¥」に作成されています。



3. 設定方法

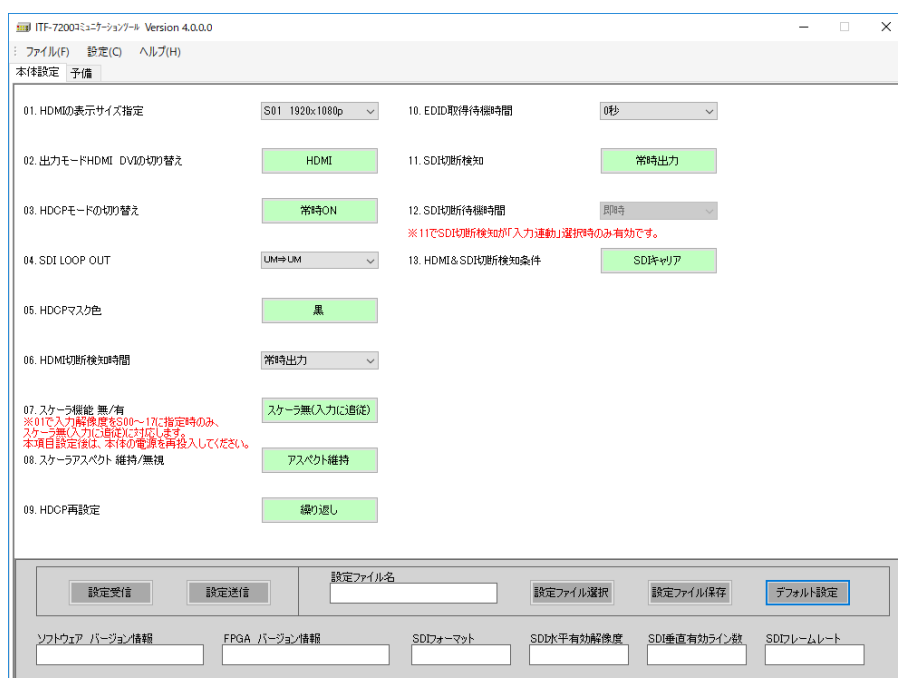
3-1. 本体設定

- (1) 画面内の各種設定項目を下記に従い選択していきます。
- (2) 設定方法

設定ボタンをクリックして該当する設定値を選択します。

尚、ボタンカラーは未設定値に関してはイエロー、デフォルト設定値はグリーン、それ以外に関しては、ピンクで表示されます。

本体設定画面



[01. HDMI の表示サイズ指定]

HDMI の表示サイズの指定を行います。

設定 : プルダウンから設定したい解像度を選択します。

[02. 出力モードHDMI DVI の切り替え]

出力モードの設定を行います。

HDMI : HDMI フォーマットで出力します。

DVI : DVI フォーマットで出力します。

3. 設定方法

[03. HDCPモードの切り替え]

HDCPモードの切り替え設定をします。

常時ON : 常にHDCPをONします。

HDCP未対応のディスプレイを使用した場合、ディスプレイ画面に映像は表示されません。

自動判別 : 接続される機器によって、HDCPの自動判別を行います。

[04. SDI LOOP OUT]

SDI LOOP OUTの出力フォーマットの設定を行います。

設定可能項目 : プルダウンから設定を選択します。

[05. HDCPマスク色]

[09. HDCP再設定]で「マスク画面出力」選択時に表示されるカラーを設定します。

黒色 : HDCPマスク時に表示されるカラーを黒色に設定します。

グレー : HDCPマスク時に表示されるカラーをグレーに設定します。

[06. HDMI切断検知時間]

SDIの信号がない場合、HDMI信号を切断するまでの時間を設定します。

設定可能時間 : プルダウンから時間を選択します。

常時出力(黒画面出力)、30秒、60秒、120秒、即時から選択できます。

[07. スケーラ機能 無/有]

スケーラ機能の有無の設定を行います。スケーラ機能を設定することで、入力映像信号よりも大きい解像度に変換して拡大表示、小さい解像度に変換して縮小表示することができます。

スケーラ無 (入力に追従) : 入力したサイズで送信します。

※[01. HDMIの表示サイズ指定]をS00~17に設定時のみ有効となります。

スケーラ有 (表示固定) : [01. HDMIの表示サイズ指定]で設定したサイズを送信します。

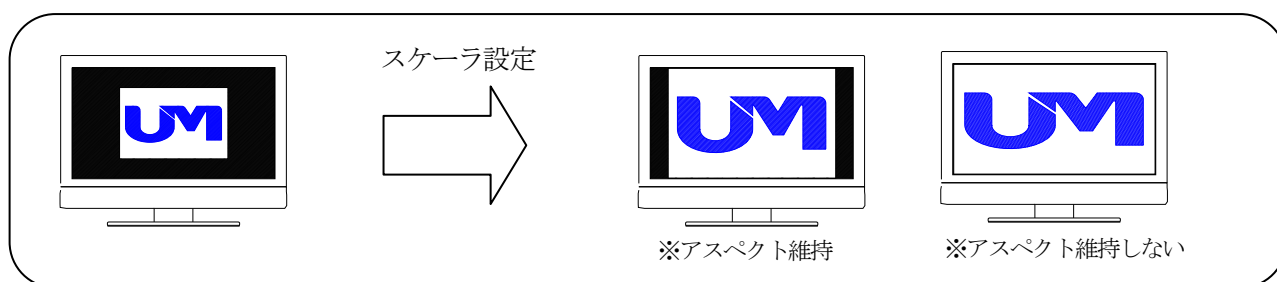
3. 設定方法

[08. スケーラアスペクト 維持/無視]

スケーラアスペクトの設定を行います。スケーラ機能が「スケーラ無」の場合、設定は無効になります。

アスペクト維持 :アスペクト比を維持したサイズ変更を行います。

アスペクト無視 :アスペクト比を無視したサイズ変更を行います。



[09. HDCP再設定]

HDCPの接続エラーが発生した時の動作設定を行います。

繰り返し :エラー発生時にDIGITAL OUTのHDCP設定を繰り返します。

マスク画面出力 :エラー発生時にDIGITAL OUTのHDCP設定を停止し、マスク画面を出力します。
マスクカラーは、[05. HDCPマスク色]から選択してください。

[10. EDID取得待機時間]

ホットプラグ検出からEDIDの取得開始の時間を設定します。

設定可能時間 :プルダウンから時間を選択します。
0秒、1秒、2.5秒、5秒、7.5秒、10秒から選択できます。

[11. SDI切断検知]

SDI LOOP OUT出力の切断方法を、常時出力と入力連動から選択することができます。

常時出力 : 入力信号に関係なく、常にSDI LOOP OUT出力を行います。
(無信号の場合、黒画面を出力します)

入力連動 : 入力信号に連動して、信号が切れた際にSDI LOOP OUT出力を切断します。

[12. SDI切断待機時間]

接続されている入力信号が切断された際、切断検知までの待機時間を設定します。

※[11. SDI切断検知]が「入力連動」設定時に有効です。

入力が切断された際の待機時間をプルダウンにて、即時/1秒/3秒/5秒/10秒と設定できます。

3. 設定方法

[13. HDMI&SDI切断検知条件]

SDI INPUTから信号がなくなった時のDIGITAL VIDEO OUTPUTとSDI LOOP OUTの出力信号切断条件の設定を行います。

SDIキャリア : SDI入力のキャリアが検出できない場合に切断します。

SDI周期信号 : SDI入力の同期信号が検出できない場合に切断します。

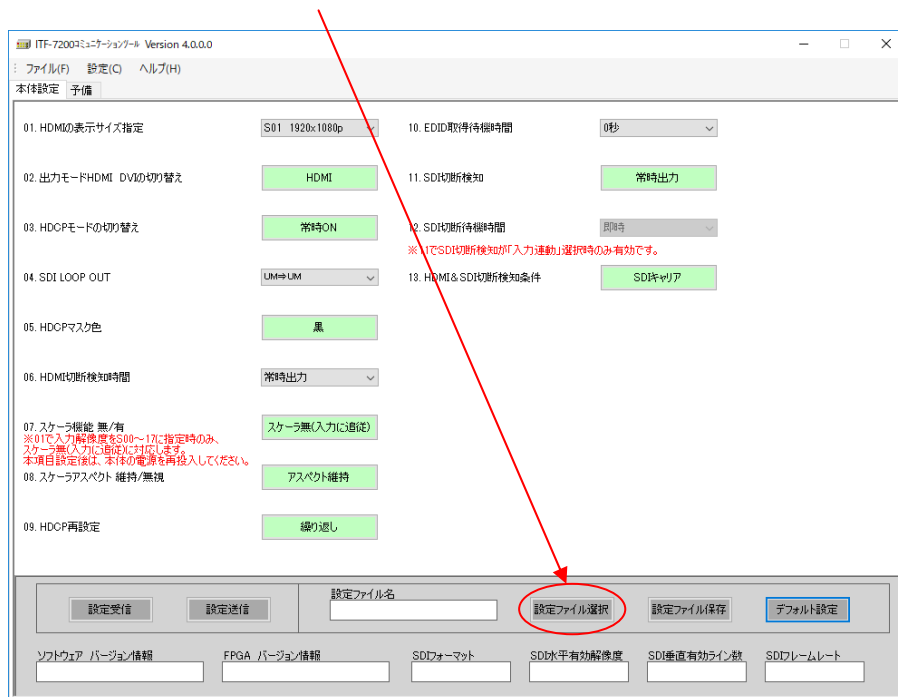
4. 設定ファイル選択/保存

4-1. 設定ファイルの選択

概要：

コミュニケーションツールの設定ファイルを読み込みます。

(1)画面下の「設定ファイル選択」ボタンをクリックしてください。



(2) 「ファイルを開く」画面が表示されますので、

- ① 「ファイルの場所」で、該当のフォルダを選択して、
- ② ファイル名で、拡張子が「usr」ファイルを選択してください。
- ③ 「開く」ボタンをクリックしてください。



(3) その後ファイルの読み込み結果のメッセージが表示されます。

「ファイルの読み込みに失敗」メッセージが表示された場合は、ファイルを確認してください。

4. 設定ファイル選択/保存

(4) ファイル読み込みに成功すると、画面下の「ファイル名」に読み込んだファイル名が表示されます。

The screenshot shows the 'ITF-72002コミュニケーションツール Version 4.0.0.0' settings window. The window title bar includes 'ファイル(F) 設定(C) ヘルプ(H)'. The main area contains 13 numbered settings:

- 01. HDMIの表示サイズ指定: S01 1920x1080p
- 02. 出力モードHDMI DVIの切り替え: HDMI
- 03. HDCPモードの切り替え: 自動判別
- 04. SDI LOOP OUT: UM⇒UM
- 05. HDCPマスク色: グレー
- 06. HDMI切断検知時間: 常時出力
- 07. スケラ機能 無/有: スケラ有(表示固定)
- 08. スケラアスペクト 維持/無視: アスペクト維持
- 09. HDCP再設定: 繰り返す
- 10. EDID取得待機時間: 0秒
- 11. SDI切断検知: 常時出力
- 12. SDI切断待機時間: 即時
- 13. HDMI&SDI切断検知条件: SDキヤリア

At the bottom, there is a section for file management with buttons: 設定受信, 設定送信, 設定ファイル名 (ITF-72002コミュニケーションツール usr), 設定ファイル選択, 設定ファイル保存, and デフォルト設定. Below this are fields for: ソフトウェアバージョン情報, FPGAバージョン情報, SDIフォーマット, SDI水平有効解像度, SDI垂直有効ライン数, and SDIフレームレート.

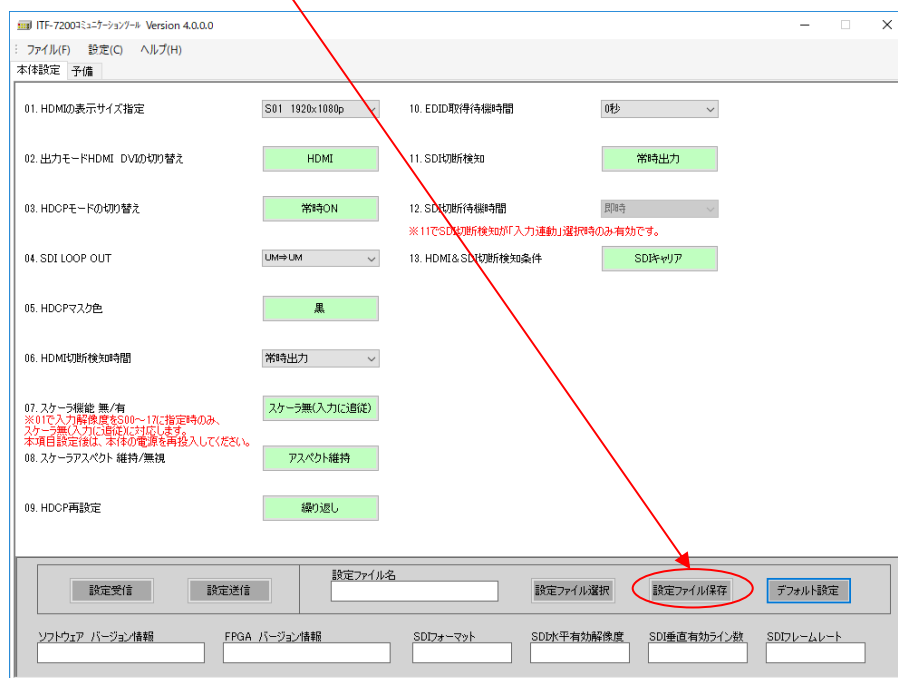
4. 設定ファイル選択/保存

4-2. 設定ファイルの保存

概要：

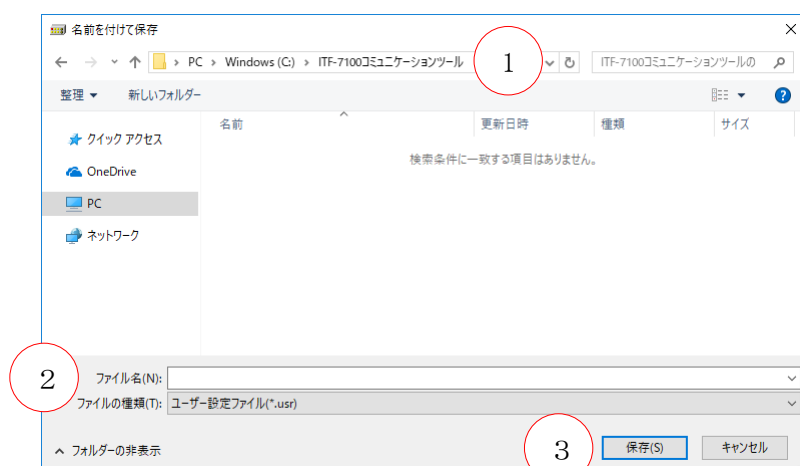
コミュニケーションツールで設定した内容をファイルへ保存します。

(1) 画面下の「設定ファイル保存」ボタンをクリックしてください。(未設定の項目がある場合は、保存できません)



(2) 「名前を付けて保存」画面が表示されますので、

- ① 「保存する場所」で、保存したいフォルダを選択して、
- ② ファイル名で、ファイル名を入力してください。拡張子usrは自動で付加されます。
- ③ 「保存」ボタンをクリックしてください。



(3) その後、ファイルが既に存在する場合は上書きを確認するメッセージ、ファイルが存在しない場合はファイルを新しく作成するメッセージが表示されます。それぞれ「はい」ボタンをクリックすればファイルが作成され、「ファイルの書き込みに成功」のメッセージが表示されます。

5. 設定送信／設定受信

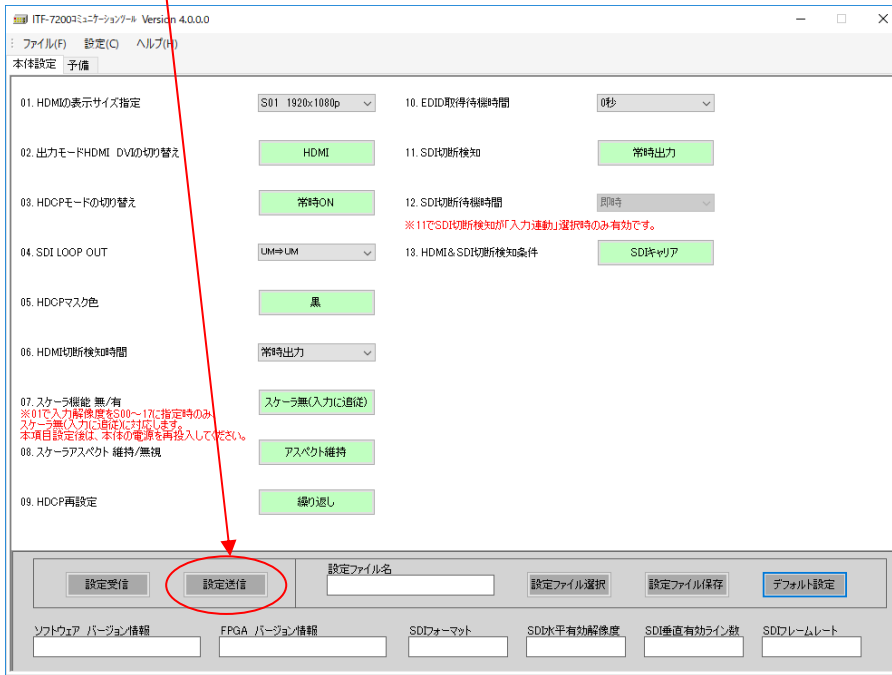
5-1. 設定送信

概要：

コミュニケーションツールで設定した内容をITF-7200へ送信します。

(1) 「設定送信」ボタンをクリックしてください。(未設定の項目がある場合は、送信できません)

※設定送信を行うには、ITF-7200をパワーオン状態にしてください。



(2) 確認のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

(3) 設定送信に成功するとメッセージが表示されます。

通信エラーのメッセージが表示された場合は、

ITF-7200とPC間の接続やコミュニケーションツールの通信設定を確認してください。

5. 設定送信/設定受信

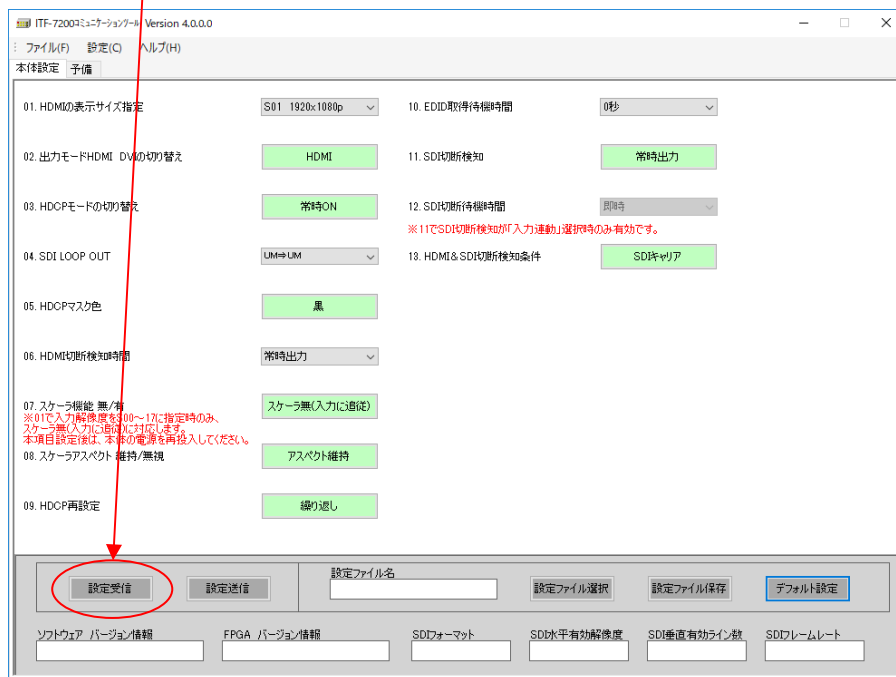
5-2. 設定受信

概要：

ITF-7200の設定内容をコミュニケーションツールへ受信します。

(1)各「設定受信」ボタンをクリックしてください。

※設定受信を行うには、ITF-7200をパワーオン状態にしてください。



(2) 確認のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

(3) 設定受信に成功するとメッセージが表示されます。

通信エラーのメッセージが表示された場合は、

ITF-7200とPC間の接続やコミュニケーションツールの通信設定を確認してください。

5. 設定送信/設定受信

5-3. 受信内容

概要:

設定受信を行うと、ITF-7200の設定内容の他に受信時の情報をコミュニケーションツール下部に表示します。

①: ITF-7200のソフトウェアバージョンを表示します。

②: ITF-7200のFPGAバージョンを表示します。

③: 現在のSDIフォーマットを表示します。

※「不明」の場合は入力ソースがない、またはケーブルの接続状態を確認してください。

④: 現在のSDI受信解像度を表示します。

例:1920×1080

例:1280×720

⑤: 現在のSDIフレームレート値を表示します。

6. デフォルト設定

6-1. デフォルト設定

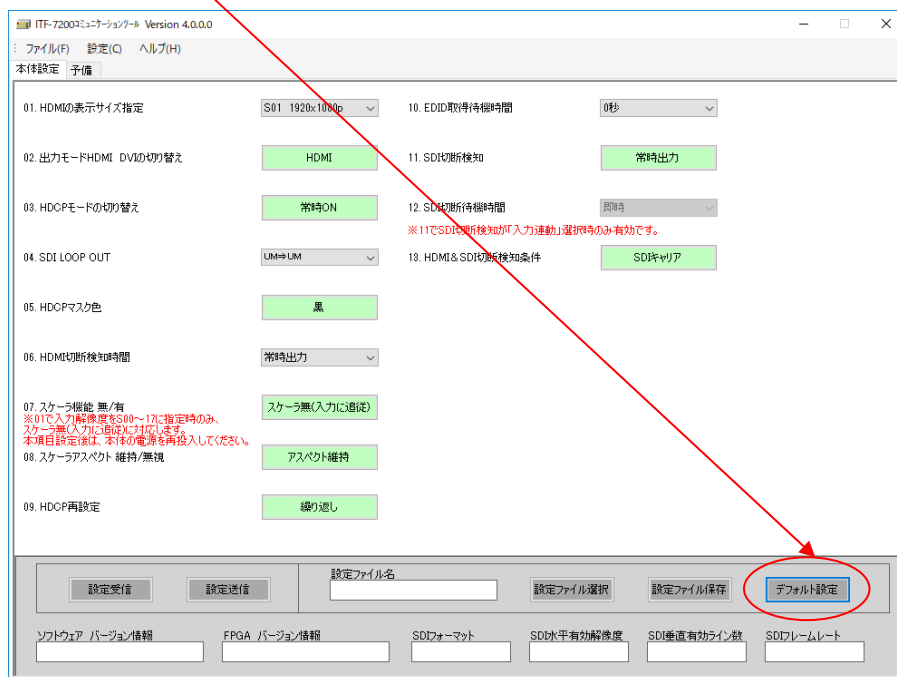
概要：

コミュニケーションツールで設定した内容をデフォルトの値に戻す設定です。

※ 一度デフォルト設定を行うと、設定した内容は失われてしまいます。

※ 設定送信を行うまでITF-7200へは反映されません。

(1)各「デフォルト設定」ボタンをクリックしてください。



(2) 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

(3) デフォルト時の状態に戻ります。

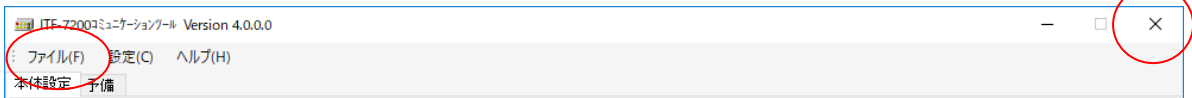
7. ツールの終了

7-1. ツールの終了

概要：

コミュニケーションツールの終了の方法です。

- (1) 本ツールを終了する場合は、画面右上の☒ボタンをクリックするか、画面左上の[ファイル] → [終了] ボタンをクリックします。



- (2) 下記メッセージが表示されるので「はい」をクリックして、コミュニケーションツールを終了してください。

